

# ひまわり



令和7年度 第7号  
大道小学校便り  
令和8年3月23日①  
文責 山西 ふじ子

## 夢を育てるひまわりP

1月30日(金)に、高学年を対象にしたキャリア講話「ひまわりプロジェクト」パート②を開催しました。



6年生の保護者である末藤さん、増岡さん、藤本さん、有働さんと、修学旅行でお世話になった旅行会社トラベルロードの益田さんにご協力いただき、5グループに分かれてお話していただきました。

ご自分の仕事の内容や職業選択の理由、その職業に就くまでの道のり、現在の思いなど、プレゼン資料を交えた分かりやすいお話でした。最後の子ども達への



メッセージでは、「夢をもち続けてください」「自分は何が好きなのか知ろう」「自分のよいところを見付けましょう」「あいさつと笑顔が大切」など、人生の先輩としての温かいメッセージをいただきました。

児童は、1人3つのお話を選択できたため、自分の興味関心に応じてじっくりとお話を聞くことができましたと思います。初めて知る仕事の内容に興味津々だったり、親の仕事内容を初めて知ってその苦労や大変さを思いやったりと、受け止め方はそれぞれでしたが、自分の将来を考え、今何をすべきかを考える、よいきっかけになったと思います。



2月24日(火)には、全校児童を対象にした「ひまわりプロジェクト」パート③を開催しました。児童に一番人気のプロスポーツ選手のお話を聞かせたいと、これまで、サッカー、野球、ハンドボール選手にお越しいただきましたが、本年度は、バスケットボールプロリーグの熊本ヴォルターズキャプテン、磯野寛晃(ひろあき)選手にお越しいただくことができました。

正にリーグ戦の真っ最中で、直前まで県外遠征されていたのに、早朝から時間を作って来ていただきました。

講演は、低学年でも分かるように、吉良先生がインタビュアーとなり、子ども達からの疑問に答えていく形をとりました。子ども達も身を乗り出すように聞き入っていました。

華やかなプロスポーツの世界ですが、そこに至るまでの苦労や現役選手として走り続けねばならない緊張感は大変なものだと思います。磯野選手も、選抜メンバーに選ばれなかったときの悔しさや練習生として先が見えなかったときの苦しみを話してくださいました。

ダンクシュートやフリースローなどの実技も見せていただき、和やかな会となりました。

### ●「千里の道も一歩から」

大変そうな道でもまずは一歩踏み出してみないことには何も始まらない。夢へ挑戦しよう。

### ●「日々反省しています」

それは、落ち込むためではなく、次のステップでよりよくなるために必要なことだから。

### ●「あこがれは捨てました」

みなさんご存じのとおりです。

…すてきな言葉をたくさんいただきました。

